

港北青指の今昔

港北青指も1994年の1号発行から、およそ4半世紀にわたり、港北区青少年指導員の活動を報告してきました。これまでの間に港北青指もいろいろ様変わりしています。

1号～27号

見開き4面のスタイルは現在と変わりませんが、文章は縦書きで、青色の用紙に黒一色刷りでした。ちょっと硬い広報誌といった感じですね。



28号～29号

この頃から、これまでのスタイルを変えていこうと模索していました。まずは用紙を白色の二色刷りに変更しました。写真がきれいに仕上がりと、活動の様子も伝わりやすくなったと思います。



30号

創刊30号の記念号でもあり、改めて青少年指導員の活動を紹介する内容となりました。実は今回の46号も30号をベースにして作っています。また他区の青少年指導員の広報誌では、横書きのスタイルが多くなっていたので、遅れはせながら港北区でも横書きを採用しました。



31号～

横書きにしたことで、紙面のレイアウトなどの自由度が広がり、さらにフルカラー印刷にして、これまでより格段と分かりやすい広報誌になったと思います。印刷部数も増やし、各地区の自治会・町内会などにも配布するようにしました。



地区紹介

⑫新吉田あすなろ

地域の各種イベントに参加し交流に努めています。子どもの喜ぶ顔が活動の励みとなっています。

⑬高田

盆踊り大会でのかき氷出店・バスツアー・地区運動会が大きな活動で、子どもたちの笑顔と触れ合っています。

①日吉

地区内に6校目の小学校が開校。「お仕事見学会」や「ウォークラリー」等の自主事業も盛況な地区です。

②綱島

子どもも大人も楽しめる運動会やグラウンドゴルフ等、多くのイベントがあり、地域活動を楽しんでいます。

⑪新吉田

ウォークラリーや風揚げ大会の他、納涼祭、運動会など催しが年間通じて多々あり、地域の方々には楽しく参加いただいています。

⑩新羽

夏休みには、中学校でダンボールハウスや夕ご飯を作ったりとお泊りキャンプをします。

⑨城郷

年末に牛乳パックでキャンドルを制作し、地域の皆様にきれいなライトアップを見てもらいました。

⑧篠原

明るく楽しくをモットーに地域の子どもの成長を見守る活動を行っています。

⑦大倉山

パトロールに重点をおき、より良い環境作りに励んでいます。

⑥師岡

メンバーは、要員含め11名。青少年の健全育成の為、P・Bロケット大会、自然体験教室等、地域と共に活動しています。



④大曽根

学校や連合町内会と協力して、健民祭や盆踊り、子ども会のイベントなど行事のお手伝いをさせていただきます。

④樽町

鶴見川樽町公園と熊野神社市民の森に挟まれた樽町は地域や区のイベントが一杯。青指・スポ進が一致団結して地区の行事をサポートしています。

⑤菊名

小中学生による新春書き初め大会があり、令和3年度は37回。毎年力作が楽しみです。



港北区青少年指導員協議会広報紙

港北青指

第46号
令和3年9月発行

発行者
港北区青少年指導員協議会
編集 広報委員会
事務局
港北区大豆戸町26-1
港北区役所地域振興課内
TEL 045-540-2240
FAX 045-540-2245

港北青指 🔍 検索



白石友恵 港北区青少年指導員協議会会長挨拶

港北区青少年指導員協議会会長に就任し、4年目を迎えました。各地区会長に支えられ、166名の青少年指導員と共に、青少年の健全育成を目的とし、活動を行っています。2年目は、区制80周年記念事業を盛り上げるため、区民まつりの一環である「ペットボトルロケット大会」において、他団体の協力を得てブース出展を増やし、賑やかに開催致しました。3年目は、皆様もご存じの通り、新型コロナウイルス感染症の影響で、ほとんどの行事開催を自粛致しました。退任されたスタッフの恩恵も出来ず、何度も行事開催を試みては、子どもたちの安全を考慮し、断念の繰り返しで1年間が過ぎました。令和3年度が始まり、今年こそは新型コロナウイルス感染症対策を考え、なんとか行事を企画しております。今年度はバスでの自然体験教室に変え、毎日不安で不便な生活を過ごしている青少年のため、楽しく、爽やかな汗をかきながら近場で実施できるイベントを開催すべく、準備を進めてきました。毎年大いに盛り上がるペットボトルロケット大会についても、各地区で感染症対策を考えながらロケット作成・講習会を行い、コロナ禍での大会開催に向けて、調整しております。新型コロナウイルス感染症が収束し、子どもたちの元気な声を聞きながら、鶴澤区長にもご参加いただき、行事開催できることを願っております。応援よろしくお願いいたします。



鶴澤聡明 港北区長挨拶

本年度から港北区長に就任しました鶴澤聡明でございます。改めてどうぞよろしくお願いいたします。平素より青少年指導員の皆様には、地域における青少年の自主的活動を推進し、青少年の健全育成を図るため、様々な事業や活動にご尽力いただき心から感謝申し上げます。昨年来の新型コロナウイルスの影響により、我々を取り巻く社会環境は大きく変化しました。地域におけるイベントの多くは中止となり、子ども達は地域の方々と交流する機会を失いました。子どもは、家庭や学校だけでなく、地域で多くの人と触れ合うことで、社会の中で生きる力を身につけます。そうしたことから青少年指導員の皆様も果たす役割は大変大きいものがあり、またこのようなコロナ禍であるからこそ、皆様一人ひとりのお力が、益々、必要になると感じております。今年度も、現時点で先を見通すことは難しい状況にありますが、コロナ禍における青少年育成事業について、区役所も青少年指導員の皆様と一緒にアイデアを出し、工夫しながら、活動を進めてまいりたいと考えております。引き続き、青少年指導員の皆様も益々活躍され、地域の活動がより一層活性化することを祈念して、私のごあいさつとさせていただきます。

令和2年度 表彰者紹介

神奈川県青少年育成活動推進者表彰

阿部 誠吾 (樽町)

神奈川県青少年指導員表彰

萩間 光明 (綱島)
木曾 孝宣 (大曽根)

横浜市教育委員会表彰

白石 友恵 (師岡)

横浜市青少年指導員永年勤続者顕彰

〈25年顕彰者〉

手塚 敏 (綱島) 嶋村 公 (樽町)
佐々木 貞貴 (大倉山)

〈15年顕彰者〉

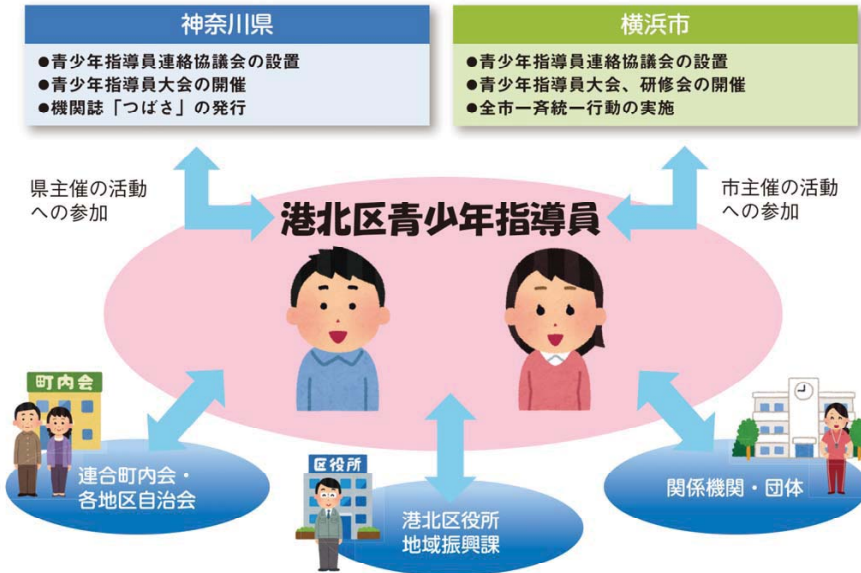
山本 英雄 (日吉) 本多 一裕 (日吉)
吉田 哲也 (大曽根) 永山 悦子 (師岡)
安藤 健司 (篠原) 高橋 英代 (城郷)

〈10年顕彰者〉

岡本 芳久 (大倉山)

青少年指導員とは

次世代を担う青少年が、健やかに、のびのび育つように願うのは、親のみならず社会全体の願いです。そのためには、学校・家庭・地域社会が行政と一体となって、青少年のためのよりよい地域環境をつくりあげる必要があります。このような地域環境をつくりあげるために、青少年指導員は、関係者や関係機関・団体との連携のもとに、率先して活動を推進する役割を担います。



港北区および各地区にて、関連組織・団体との連携を図りながら、青少年の育成に従事しています。

神奈川県や横浜市が開催する青少年指導員大会や各種研修会への参加を通じて、日ごろの活動成果の発表や情報交換を行うことにより、相互理解と連携を深めています。

ペットボトルロケット大会や自然体験教室など、環境をテーマとして、身近なところでの気づきや、改善への取り組みを促す活動を行っています。

各地区でのひと声かけ運動やパトロールなど、青少年のためのよりよい地域環境づくりを、自治会、町内会、子ども会等と連携して進めています。

自然体験事業

幼い頃から本物に触れさせ、いのちを感じるセンスを実体験をととして体得させることを目的として、平成21年度から「自然体験教室」を行っています。様々な体験により、「虫の声や空気の流れを感じた」、「森の大切さがわかった」など子どもたちにとっても貴重な体験となったのではないかと感じています。

足柄ふれあいの村 (第1回, 第6回)
木を使ったクラフト体験、お昼は自分たちで作ったカレーで大満足でした。

愛川ふれあいの村 (第2回)
「木ラリー」でチームのみんなと協力していろいろな草木を探しました。

こどもの国 (第3回)
地図を頼りに広い園内にある20か所のポイントを回ってミッションをクリア!

宮ヶ瀬ダム (第4回, 第9回)
ダム見学や工芸体験を楽しみました。堤高156mのダムに圧倒されましたね。

ソレイユの丘 (第5回, 第10回)
飯盒炊飯や万葉鏡作り、自然の中での昼食や動物とのふれあいが楽しかったね。

小網代の森 (第7回)
いつもはしゃぐ子どもたちが、真剣に説明を聞いてメモをとっていました。

野島公園 (第8回)
自然と歴史遺産がいっぱいの島を「フォトラリー」で探索、そしてみんなでカレー作り。おいしかった!

湘南国際村 (第11回)
森の大切さの講義を受け、めくりの森で植樹をしました。元気に育ってるかな?

ペットボトルロケット大会

港北区民祭りの一環として鶴見川河川敷の樽町公園にて行っています。私たちの日常生活に密着した20世紀最大の発明ともいわれる大変便利なペットボトルを使用して、身近な環境問題の提起、また工作や減少した理科の実験を身をもって体験します。

過去10大会での飛距離ベスト3

順位	飛距離	氏名	実施年度
1位	97 m 00cm	羽鳥知奈実 さん	2010年度
2位	96 m 30cm	鈴木 歩太 さん	2019年度
3位	94 m 20cm	山崎 留愛 さん	2011年度

発射10秒前! ペットボトルロケット発射! ミズキから表彰

ひと声かけ運動

こころの持ちようで誰にでも参加していただけるボランティア活動です。となり近所の幼い子どもへの「おはよう、こんにちは…」からはじまる日常会話が、子どもとの関わり大切な一歩だと思います。私たちの街を私たちの手で犯罪のない安心して子育てのできる街にしたいものです。

ひと声かけ運動の活動の様子

ひと声かけ運動で安心なまちづくり